

は し が き

当研究所は、平成15年度の委託研究として「平成15年度対アフリカ政策研究会議」として「サブサハラ・アフリカにおける地域間協力の可能性と動向」を外務省より受託しましたが、本報告書はその研究成果をとりまとめたものです。

アフリカにおける紛争問題に関して日本が如何に対応していくかを考える上で、アフリカにおける紛争予防・解決分野、とりわけ「平和の定着」の為の基軸となるDDR(動員解除、武器回収、社会復帰)分野等におけるアフリカの主要地域機関(AU, ECOWAS, SADC, IGAD)の活動状況を正しく分析する必要があります。本研究は、TICADⅢのフォローアップの一環という観点に立ちつつ、こうした「平和の定着」の為のサブサハラ・アフリカの地域機関の活動の実態を調査、評価し、今後の地域協力のあり方について分析を行ったものです。

ここに表明されている見解は、すべて各執筆者のものであって、当研究所の意見を代表するものではありませんが、本報告書の内容が、日本におけるアフリカ研究及び紛争予防研究の一助になることを願うものです。

最後に、本研究に終始積極的に取り組まれ、本報告書の作成にご尽力いただいた執筆者各位、並びにその過程でご協力いただいた外務省中東アフリカ局アフリカ一課、アフリカ二課及び関係在アフリカ公館の関係者に対し、改めて深甚なる謝意を表します。

平成16年3月

財団法人 日本国際問題研究所

理事長 佐藤 行雄

研究体制（敬称略）

主査	堀内 伸介	当研究所客員研究員
委員	青木 一能	日本大学文理学部教授
	栗本 英世	大阪大学大学院人間科学研究科教授
	六辻 彰二	横浜市立大学非常勤講師
委員兼幹事	片岡 貞治	当研究所研究員
研究助手	真下 陽子	当研究所研究助手